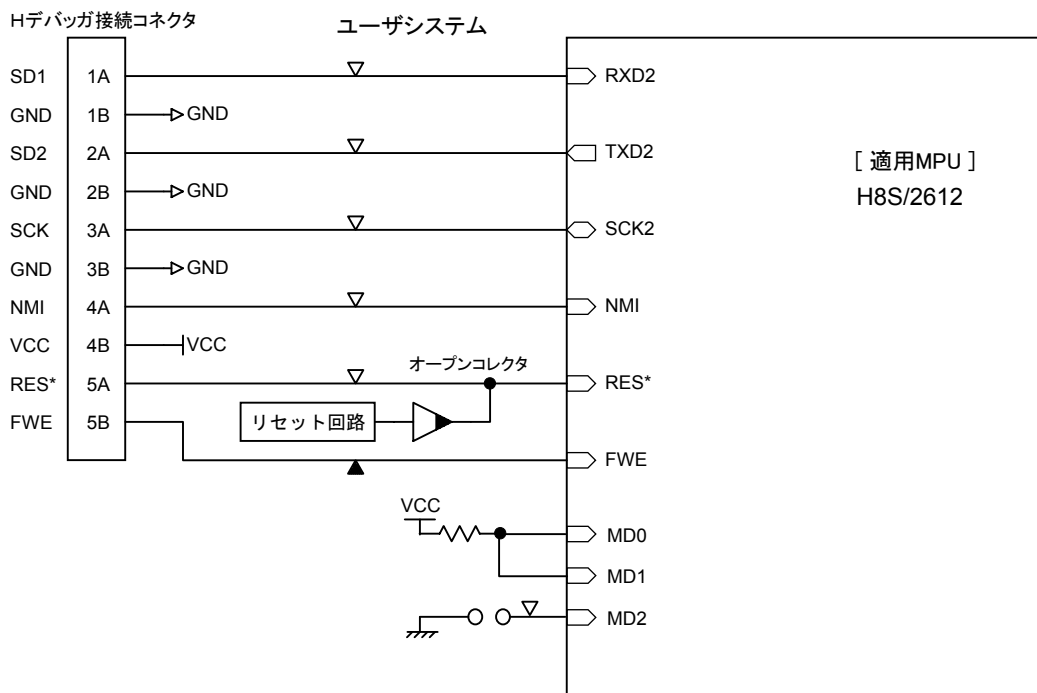


【 接続回路例 】 H8S/2612の場合 (H8S/2600シリーズ)



- ▽印はプルアップ抵抗です、▲はプルダウン抵抗です。抵抗値は4.7K~22Kの範囲を推奨します。
- リセット回路の遅延時間は、200mSEC以下になる様ハードを設計して下さい。
- この図例は、シングルチップモードです。ブートモードにする場合はMD2をLOWにします。
FWEは、H-debuggerから制御 (LOW/HIGH) します。